

港で栄えた商家町

重要伝統的建造物群保存地区

しそわちかひつ、浜崎マップ

萩・浜崎

萩城下の港町として栄えてきた、浜崎。日本海に面することから、物資の流通や販売、水産業などに携わる人々ににぎわい、古くから萩の経済を支えてきました。現在もその町並みは健在で、平成十三年十一月には、全国で六十番目の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。



古い建物がいっぱいの浜崎

浜崎には他にもたくさん伝統的な町家が残っています。浜崎伝建地区内には、伝統的建造物として指定された建築物が135棟あり、そのうち、江戸の建物が約45棟、明治の建物が約40棟、大正の建物が約25棟もあるのです。

港の商家町おすすめコース

徒歩：約30分
ガイド付：約1時間半

- Start 浜崎町並み交流施設 (旧山中家住宅) ①旧萩藩御船倉 ②小池家土蔵 ③船宿 ④柏村家 ⑤広家 ⑥藤井家 ⑦斉藤家 ⑧池部家 ⑨中村船具店 ⑩旧山村船具店 ⑪旧山中家住宅 ⑫須子家 ⑬住吉神社 ⑭中嶋治平旧宅地 ⑮田中家 ⑯梅屋七兵衛旧宅 ⑰林家 ⑱大嶋家 ⑲泉福寺 ⑳藤山家 ㉑吹上通り ㉒旧萩藩御船倉 Goal

幕末の科学者

お土産品で有名な「萩ガラス」そして、食べるとビックリ!? 幕末パンをつくったという科学者「中嶋治平」の旧宅地です。萩でのコレラ流行を防ぎ、製鉄場の建設にかかりました。また、船や機関車も建造しました。萩城内で初めて、蒸気機関車の模型を運転したのは彼なのです!!



浜の香り

路地の奥へ行くと…クンクン。浜の香りがする! 町並みを一歩裏手に入ると、地場産業である海産物の加工場があって、いりこ、ちりめんじゃこが干してあり、浜の香りが漂います。



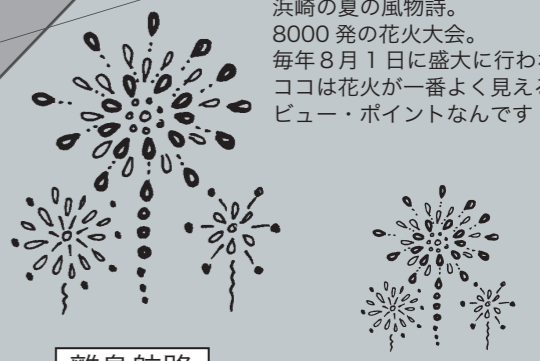
あの山は…もしかして?

住吉神社の横から菊ヶ浜を見て下さい!! ポコッと山が見えませんか? そうです! 萩城跡のある指月山が見えるのです。



8000発の花火大会

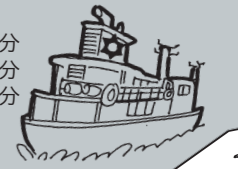
浜崎の夏の風物詩。8000発の花火大会。毎年8月1日に盛大に行われます。ここは花火が一番よく見えるビュー・ポイントなんです!



離島航路

この先→日本海には7つの島があります。浜崎とこれら7島は江戸時代、御船倉に代官所を置く浜崎宰判の支配下にありました。萩商港からは、3つの島に定期船が出ています。

- ◎大島航路→30分
- ◎見島航路→70分
- ◎相島航路→50分



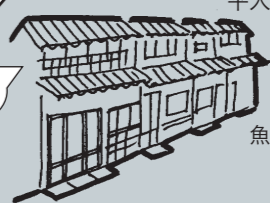
浜崎の卸売市場

おいしい魚は、ここからお店へ!! 平日は夜明け前から競りが行われています。今、旬の魚は何かなあ~?



つながってるの?

平入の古い町家が連続して残っていて、いくつ家が繋がっているの!? 数えてみよう!! 綺麗に揃った底が見られるよ。江戸から明治にかけて、魚問屋と廻船問屋を営んでいました。



鶴江の渡し

対岸の鶴江に船で行けます! 藩政時代、川内に入るには、2本の橋しかなかったため、渡し船が活躍していました。なんと! 今でも現役の手漕ぎの渡し船なんです。



乗船希望の方は声をかけて下さいね!

丸型赤ポスト

一気に昭和にタイムスリップ。今も使われているポストです。ぜひ旅の思い出をハガキに書いて、出してみたいかですか?



迷路!?

裏道!? 迷路に入り込んだような狭い路地。他にもあるよ。



浜崎町並み交流館

旧山中家住宅の2階から松本川を眺めた様子。萩の典型的な町家です。



住吉神社

江戸 住吉大明神に祈ったところ、浜崎の船だけ無事だったというお払いの神様。



15 田中家

夏みかんや鮮魚の商いを行っていた商家。



16 梅屋七兵衛旧宅

幕末期に購入した萩藩の武具を御用商人の旧宅。



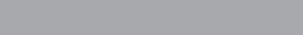
17 林家

江戸、明治、油屋、ろう屋を営んでいた。



18 大嶋家

呉服屋を営んだ後、醤油醸造元となる。



古民家再生モデル住宅

梅屋七兵衛旧宅は、古民家を活かしたモデル住宅です。休憩所としても利用できるため、ゆっくりしていただきたい。浜崎の事なら何でも聞いて下さい! 頼もしいおじちゃんが迎えてくれますよ~。

